

平成30年度 新潟県立歴史博物館 講座のご案内

(前期:2018年4月～2018年9月)

期日	曜	時間	講座名	講師	内容	対象	定員	会場	持ち物等	申込方法
5月12日	土	13:30～15:00	稲作文明の始まりを探る	西田 泰民	およそ1万年前から中国南部では稲作が開始され、やがて大きな村が作られるようになり、4千年前には城壁に囲まれた都市が形成されました。2015年から始まった長江下流域での日本調査団の研究成果を紹介します。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
5月13日	日	13:30～15:00	春季企画展・記念講演会 伊万里磁器を楽しむ	荒川 正明 氏 (学習院大学教授)	陶磁史がご専門で自らも展覧会を企画されてきた荒川先生に文様に込められた意味、人々の暮らしとの関わりを通じて古伊万里の魅力について語っていただきます。	一般	150	講堂	—	電話、葉書、FAX、メール
5月19日	土	13:30～15:00	シリーズ「記念」連続講座① 国際博物館の日記念講座 博物館における『記念』	山本 哲也	「記念館」という博物館のこと、また、何かを記念して博物館が行うこと。博物館における「記念」のさまざまな姿を見ながら、博物館の意義を考えます。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
5月26日	土	13:30～15:00	火焰土器と水煙土器	宮尾 亨	縄文土器の中でも突出した知名度をほこる火焰土器。もうひとつ、知名度では負けていない縄文土器に水煙土器があります。よく知られたふたつの縄文土器。その因縁を火焰土器と水煙土器というニックネーム命名にまつわる考古学史と、縄文時代における土器群の関係史とともに考えます。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
6月2日	土	13:30～15:00	日本のえご食文化	大楽 和正	海藻のエゴノリを煮溶かして固めて作る「えご」は、お盆の時期に欠かせない越後の郷土料理です。本講座では、日本各地に伝わるえご食文化について概観し、その歴史と地域的な広がりについて考察します。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
6月9日	土	13:30～15:00	シリーズ「記念」連続講座② 縄文時代の 記念物を読む	宮尾 亨	環状列石など多種多様なかたちでつくられる記念物について紹介し、縄文時代にそれらの営まれた背景を考えます。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
6月16日	土	13:30～15:00	民俗収蔵庫見学会	当館研究員	博物館の裏舞台の一つである民俗収蔵庫をご案内いたします。学芸員によって収集、整理され、民俗資料となった生活道具が、新たな姿で新しい発見を提供してくれます。見学会を通して民俗資料の基本的な見方を紹介します。	一般	15	研修室 館内施設	—	電話、葉書、FAX、メール
7月1日	日	①11:00～12:30 ②13:30～15:00 ※開催時刻注意	伝統芸能上演会 佐渡人形芝居上演会	真明 座	国重要無形民俗文化財に指定されている「佐渡の人形芝居」の上演会。午前は『平家女護島(へいけによごのしま)』、午後は『源氏烏帽子折(げんじえぼしおり)』の一場面を上演する予定です。たいへんユニークなのろま人形の上演も予定しています。	一般	各回 150	講堂	—	電話、葉書、FAX、メール
7月22日	日	13:30～15:00	夏季企画展・記念講演会 「奥羽越」列藩同盟 と越後諸藩	栗原 伸一郎 氏 (東北大学大学院 文学研究科 学術研究員)	戊辰戦争時に結成された「奥羽越」列藩同盟。そこには、なぜ北越諸藩が入っているのでしょうか。また、「奥羽越」という枠組みで地域連合が結成されたことは、当然の帰結であったのでしょうか。全国的動向からみた「奥羽越」列藩同盟の形成過程と、越後諸藩の政治選択を紹介します。	一般	150	講堂	—	電話、葉書、FAX、メール
7月29日	日	13:30～15:00	夏季企画展・記念講演会 北越戊辰戦争と 維新政府の情報戦略	箱石 大 氏 (東京大学史料編纂所 准教授)	北越戊辰戦争は、長岡や新潟をめぐる攻防など各地で激戦となりました。戊辰戦争期の維新政府は、出兵した諸藩に戦争報告書を提出させ、それを『太政官日誌』をはじめとする官版日誌に掲載して公表し、越後でも『北征日誌』を刊行しました。本講演では、出版メディアを活用した維新政府の情報・宣伝戦について解説します。	一般	150	講堂	—	電話、葉書、FAX、メール

期日	曜	時間	講座名	講師	内容	対象	定員	会場	持ち物等	申込方法
8月4日	土	13:30～15:00	武器商人スネル 関係文書を読む	西田 泰民	戊辰戦争時、「奥羽越」列藩同盟側に武器を供給した商人スネルについて、これまで紹介されていない資料が外務省外交史料館、オランダ国立公文書館にあります。1868年夏の新潟の状況を生々しく伝える資料を検討します。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
8月5日	日	13:30～15:00	体験型講座 博物館のうらがわ 探検ツアー	三国 信一	「博物館の裏側はどうなっているの?」「どんな仕事をしているの?」、ふだんは見ることができない博物館のバックヤードを探検します。	小学生 中学生 親子	15	研修室 館内施設	—	電話、葉書、FAX、メール
8月11日	土	①10:30～12:00 ②13:30～15:00 ※開催時刻注意	体験型講座 自分の指の レプリカを作ろう	山本 哲也	レプリカって何?なぜ博物館にはレプリカが飾ってあるの?...そんな質問がよく聞かれます。実際に自分の指のレプリカを作る作業をとおして、レプリカというものを考えてみます。なお、参加は「小学生以下と保護者の組み合わせ」で複数名での親子の参加を優先とします(一般=中学生以上は、開催前日までに、参加の可否を連絡します)。	親子優先 一般も可	各回 20	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
8月18日	土	13:30～15:30 ※開催時刻注意	体験型講座 作ってみよう 『本格まが玉』(夏の部)	山本 哲也	一般に体験用として使う滑石(かっせき=硬度1)ではなく、やや硬い石材(硬度3)を使い、また、昔の製作技法も一部取り入れながら、ちょっとだけ本格的なまが玉作りを体験します。なお、参加は「小学生以下と保護者の組み合わせ」で複数名での親子の参加を優先とします(一般=中学生以上は、開催前日までに、参加の可否を連絡します)。当館売店にて販売する「青田石(せいでんせき)」を購入してから参加して下さい。(当館ミュージアムショップにて300円で販売予定)	親子優先 一般も可	30	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
9月8日	土	13:30～15:00	古代の史料を読む①	浅井 勝利	古代(奈良平安時代)の歴史史料を読み解きながら、当時の社会や政治について考えます。(1と2は、連続する内容ではありません。)	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
9月15日	土	13:30～15:00	秋季企画展・記念講演会 徳川の栄華(仮)	徳川 恒孝氏 (徳川宗家第18代当主、 徳川記念財団理事長)	徳川恒孝氏は、家康以来征夷大將軍を世襲した徳川宗家の18代当主にあたり、宗家に伝わった貴重な遺産を管理するために徳川記念財団を設立された人物です。250年に及ぶ天下泰平の時代を築いた徳川氏の文化に関してご講演いただきます。	一般	150	講堂	—	電話、葉書、FAX、メール
9月22日	土	13:30～15:00	シリーズ「記念」連続講座③ 長岡開府300年と その時代	田邊 幹	長岡開府400年の年にちなみ、100年前の長岡開府300年事業とその時代背景を解説し、現在の長岡へのつながりを紹介します。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
9月29日 10月6日	土	13:30～16:00 ※開催時刻注意	体験型講座 ループ組紐入門(全2回)	友の会分科会 絲の会	ループ状の糸を指と手のみで組む伝統組紐技法は、正倉院宝物や武具の紐に用いられました。その技法を体験する講座です。当館売店にて販売する「ループ組紐体験キット」を購入してから参加して下さい。(当館ミュージアムショップにて500円での販売予定)	一般 親子	10	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール

<申込方法・手続き>

・申込方法は、「電話」「葉書」「ファックス」または「メール」での申込となります。いずれも、希望講座名、お名前、住所、電話番号の4項目を明記してください。

\* 講師都合等による実施日の延期(中止)ということもあります。その際、申込者にはご連絡をいたしますが、お申込されていない方へはご連絡できませんので、ご注意ください。

※ 申込先

〒940-2035 新潟県長岡市関原町1丁目字権現堂2247番2 新潟県立歴史博物館 経営企画課  
TEL:0258-47-6135 FAX:0258-47-6136 メール:koryu@nbz.or.jp

※ お申し込みいただいた際の個人情報、今後の講座や講演会・イベント等のご案内に使用させていただくことがあります。

携帯電話からの申し込みメールはこちらからのQRコードをご利用ください。

